

鉄道ピクトリアル

2011年10月号 Vol.61 No.10 通巻No.854

<特集> 去りゆく鉄道風景

■表 紙 明治期完成の中央本線巖山トンネルと115系進藤 匡

梁川一鳥沢 2011-8-6

キヤノン EOS-1DsMk III EF50mm F1.4 絞り f2.8 タイム1/1000 ISO320

■グラフ

Nostalgic Railway (1~8ページ)

下嶋一浩・藪下茂樹・井上英樹・山中 茂・森田 宏
今泉博之・神田竜司・吉本 智・福田静二・赤座安彦
高山貴士・澤木良直・太田正行・斎藤文昭・佐藤邦弘
岩永伸一・白川 淳

*

去りゆく鉄道風景構成：編集部 25

記憶に残る仁山信号場でのスイッチバック早川 昭文 34

米子発東京行 懐かしの鉄道情景への旅白川 淳 36

*

Pictorial Color Gallery 時へのロマン山中 茂 89

JR西日本「くろしお」用287系／小田急電鉄「F-Train」が運行開始／都営交通100周年記念車両展示／JR東日本仙石線矢本一石巻間が運転再開／しなの鉄道で169系12両編成運転／梅小路蒸気機関車館お召機の頭出し展示を実施ほか

92~97

トピック・フォト（各地・関東・中部・関西） 98

「東京の交通100年博」の都電展示によせて白川 淳 106

D51その一族—1115分の1の素顔—(125)構成：編集部 108

ブルーノス・アイレスのスブテ（地下鉄）その後園田 淳 110

■本文

今月の話題：去りゆく鉄道風景編集部 9

戦後の鉄道—変わりゆく鉄道風景—山田 亮 10

【去りゆく鉄道風景をめぐって】

急行列車寺本 光照 41

食堂車佐藤 博 45

車扱貨物列車渡辺 一策 52

吊掛式電車真鍋 裕司 58

タブレット閉そく式多羅尾光睦 62

スイッチバック早川 昭文 67

出札・改札口と硬券長谷川優一 73

「べんと、べんとー、えーアイス」の時代根本 幸男 81

*

鉄道の話題編集部 24

東京史を伝える市電ヨヘロ白川 淳 84

「とうてつ電車まつり2011年夏」開催三瓶 嶺良 86

最後の“東武顔” 東武8111編成が定期運用から引退稻葉 克彦 113

60年前の鉄道調査旅行 昭和26年の東北一周旅行記①瀬古 龍雄 120

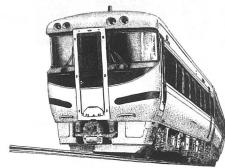
7月のメモ帳126

読者短信・情報ファイル127

後部車から131

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

去りゆく鉄道風景

鉄道は多岐にわたるシステムの結集によって形成され、人や物を安全に輸送する役割を果たしている。それぞれのシステムは時の経過とともに発展、変化しつつ、鉄道はより安全で快適に利用できる交通機関として今日に至っているわけであるが、その発展の過程で、新たな装置が出現する一方、消えていく装置もあり、鉄道を取り巻く風景は時々刻々と変転を重ねていく。たとえば都市近郊の中規模駅をイメージしていただきたい。1960年代、ホームの端には構内踏切、線路は茶色に染まったパラストに木製まくら木、吊掛け音を響かせた電車が行き交い、改札ではラッチ内で改札鉄を握った職員が改札業務を行っている。それから半世紀、鉄道は立体交差化が進み、駅は高架や地下駅が増え、出改札も自動化されて、今日では駅をめぐる風景も大きく様変わりした。

こうした鉄道の変化は、システムの発展を考えれば当然のことであり、鉄道の躍進は喜ばしいことである。ただし、それぞれのシステムには歴史があり、今日に至る経過を記録し、記憶に留めることは大いに意義深いことであろう。本号はそうした視点から、鉄道の発展の中で消えた、あるいは現在消えつつあるシステムを、感傷的な部分は抑えつつ、ハード面はもとより、そのシステムに鉄道員や利用客がどのように関わってきたかを、鉄道風景の中で捉えようとしたのである。とはいって、近年は時代変遷のテンポも速く、個々のシステムすべてを網羅することはとうてい不可能であり、鉄道趣味的に見て興味の多いシステムをいくつか取り上げて概観することとし、戦後における総体的な流れを巻頭の総論に委ねている。鉄道の発展を支えたシステムに興味を見出していくだければ幸いである。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan